



市民病院だより

市報版

この震災では、全国から多くのDMAT(災害派遣医療チーム)が被災者の救援を行っていることが報道されました。DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災

平成23年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震は、東北地方を中心に東日本に甚大な被害をもたらしました。この地震により、お亡くなりになられた方々へのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災者の皆様とご家族に心からお見舞いを申し上げます。

DMAT

(ディーマツト・災害派遣医療チーム)



害などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームのことを言います。

阪神・淡路大震災で災害医療について多くの課題が浮き彫りとなり、この教訓を生かし、各行政機関、消防、警察、自衛隊と連携しながら救助活動と並行し、医師が災害現場で医療を行う必要性が認識されるようになり「一人でも多くの命を助けよう」と平成17年4月に発足しました。

DMATには日本DMATと大分県内のみで活動する大分DMATがあり、国東市民病院にも併せて12人(平成23年4月1日現在)のDMAT隊員がいます。今回の震災に対して、いつでも出動できる準備を整えて待機していました。

病院は現在「災害に強い病院」となるように建て替え工事を行っていますが、建物だけではなく、災害医療に対しても毎年訓練を実施しています。昨年は国東高校の学生ボランティアにも参加協力をしていただきました。今年も6月5日(日)に訓練を行う予定です。訓練は自由に見学いただけますので、興味のある方は是非お越しください。



お知らせ

国東市民病院 合同災害訓練

日程 6月5日(日)
(見学は自由です)
患者役などの訓練ボランティアを募集しています。



△昨年の訓練の様子

問い合わせ 国東市民病院 庶務課 ☎0978-67-1211